

東京YWCA 女性と少女の人権課

プロボノ&ボランティア説明会

あなたの経験とスキルが、支援のチカラになる！

東京YWCA 女性と少女の人権課では、DV(ドメスティック・バイオレンス)の被害者支援にとりくむ支援者たちをエンパワーして、バーンアウトせずによりよい支援をより多く提供することができるように、「支援者エンパワメントプログラム」としてDV被害者支援の質向上に取り組んでいます。

このプログラムをより多くの支援者・現場に届けるため、東京YWCAのチームを支え、協働して下さるプロボノ&ボランティアメンバーを募集します。

事務局運営、広報、マーケティング、ファンドレイジングなど実務経験やスキルを活かして社会貢献に関わってみたい方、まずは説明会にご参加ください！



●説明会の内容●

- ・ 東京YWCA「DV被害者支援—支援者エンパワメントプログラム」について
- ・ ミニワーク「お互いの強みを知る」
- ・ プロボノ&ボランティア募集説明
- ・ Q&A、個別相談会

●こんな方におススメ！●

- ✓ 女性や子どもの支援に関心がある
- ✓ 暴力のないコミュニティづくりに関心がある
- ✓ 非営利団体の中間支援に関わってみたい
- ✓ 広報やマーケティング、ファンドレイジングなどのスキルを活かしてプロボノに挑戦したい

2016年11月13日(日) 10:00~12:00

2016年12月1日(木) 19:00~21:00

2017年1月18日(水) 19:00~21:00

無料
定員20名

*各回、同じ内容です。

●お問合せ・お申込み●

東京YWCA

女性と少女の人権課【担当：米山】

josei@tokyo.ywca.or.jp

東京YWCA会館「101号室」

東京都千代田区神田駿河台1-8-11

- ・ JR「御茶ノ水駅」徒歩4分
- ・ 千代田線「新御茶ノ水駅」B1出口徒歩4分
- ・ 丸の内線「御茶ノ水駅」徒歩5分
- ・ 半蔵門線・都営新宿線・三田線「神保町駅」A5出口徒歩8分
- ・ 都営新宿線「小川町駅」B5出口徒歩8分

Tokyo YWCA's Mission

DV防止への取り組み

東京YWCA女性と少女の人権課では、DV(ドメスティック・バイオレンス)を社会構造の問題ととらえ、支援システムの強化を見据えて、DV被害者支援の質の向上に取り組んでいます。支援の要となる「支援者」一人ひとりの力を発揮できるようエンパワーし、ともに希望をもって、暴力のない社会を実現することを目指しています。

「支援者エンパワメントプログラム」では、こんな活動に取り組んでいます

仲間たちと「つながる」

様々な現場で活動する支援者が仲間同士で知恵を共有したり、つながりを作るための、安全・安心な場づくりを行っています

- 支援者サロン
- ピア・スーパービジョン など

今の力を「はかる」

支援に必要な価値観や行動を言語化し、支援の質を客観的にはかり、改善につなげるための「ガイドライン」づくりに取り組んでいます

- 現場の経験に根ざしたガイドラインの開発
- 研究者との協働

エキスパートに「まなぶ」

当事者に向き合ったとき、真に活かせる力をつけるための実践的なトレーニングを開発し、全国各地の支援者に提供しています

- 支援者トレーニング
- リーダーシップ育成
- 各現場のニーズに応じたオーダーメイド研修



支援者支援の“しくみ”を強化するサポーターを求めています！



東京YWCA 女性と少女の人権課で「支援者エンパワメントプログラム」を担当している米山です

「DVの被害者支援に関わって約15年。それはアメリカのDVシェルターでのボランティアから始まりました。

“女性をエンパワメントしたいのであれば、その対極にあるDVという問題に関わらなければ！”という直感でした。その後、日本のシェルターで働いていたとき、バーンアウト(燃え尽き状態)で支援の現場から離れましたが、DV被害者支援への思いは冷めることなく、支援者支援へとつながりました。

DVの問題は深刻で難しく、決して楽しいものとは言えませんが、生きていく上で欠かせない“人との関わり”について、とても大切なことを教えてください。支援者支援の輪、広げたいです！」

プロボノがきっかけで、今年から活動に参加している松澤です



「DV被害者の支援そのものは特別なスキルが求められ、まだまだ力不足ですが、後方支援として、被害実態や支援者の奮戦記などを広く発信したいと思います。一緒に活動してくれるボランティアメンバー募集中！」

東京YWCA会員で、今年から活動に参加している白幡です



「支援者を元気にすることは、さまざまな活動で必要なことだと思っています。私にも出来ることがきっとあるはず。新しい出会いとチャレンジにワクワクしています！」

NGO活動がきっかけで、数年前から参加している秋元です



「学生時代からNGOで女性の人権に関わってきました。支援現場を支えるこの活動は、画期的な取り組みです。広報や資金調達を強化して、よりよい活動ができるよう、仲間を増やしていきたいです！」